

都市再生整備計画事業 フォローアップ
守谷中央地区

平成28年4月

茨城県守谷市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	緑化推進活動登録人数	人/年	857	952	1651	確定 見込み ●	○	あり なし	1,676	H28年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	引き続き緑あふれる守谷が推進され、緑化活動が継続されているものと評価する。
指標2	住環境に対する不満足度	件/年	111	80	40	確定 見込み ●	○	あり なし	22	H28年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民生活に身近な環境の改善の成果として現われている。
指標3	市民活動登録人数及び生涯学習センター利用人数	人/年	33,912	36,963	38,436	確定 見込み ●	○	あり なし	37,798	H28年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民協働のまちづくりが浸透し、コミュニティ形成や市民活動が維持されているものとする。
指標4						確定 見込み		あり なし					
指標5						確定 見込み		あり なし					

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み								
その他の数値指標3					確定 見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	安心安全なまちづくり	・市民と協働で公園内の植栽について、枝降ろし等の維持管理作業を実施した。 ・まちの主要交差点等に防犯カメラを設置	・公園周辺の環境が改善されたことに加え、地域コミュニティ活動の促進、維持が図られている。 ・市内の犯罪発生件数が減少傾向にある。	・土地区画整理事業で新たに整備された地域のコミュニティ形成を図るとともに、市内全体で市民協働による活動をさらに促進する。 ・防犯カメラの設置を促進する。
	コミュニティ活動の持続・推進	・保存緑地において、地域住民やボランティア団体と協働で環境整備活動を実施した。	・緑地保全に関する意識が高まった。	・更に活動機会を増やし、定期的に市民が参加できる体制づくりが必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心拠点に都市機能の集約を図る	・守谷駅周辺の市有地について、具体的な土地利用形態を検討。	・公共の広場や施設の整備など、一定の方向性が示された。	・今後は市民の意向を把握する機会を設け、基本計画等の策定につなげていく。
	少子高齢化、環境対策として、公共交通機関の利用しやすい環境整備及び環境にやさしい移動手段の利用促進	・バスロケーションシステムの整備検討	・市、事業者において、公共交通の利用促進のためシステム整備の必要性が再認識された。	・早期整備に向けてシステム内容の具体的検討を進める必要がある。
	より効果的な保存緑地の利用形態の構築及び緑化活動推進のPR強化			

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項